

科目名・単位数	管理会計演習 I A 2単位	科目分類	管理会計系	応用・実践科目
配当年次	2年次・春学期・昼	担当教員	やすだ まさよし	
履修形態	選択必修		保田 順慶	
授業概要	<p>本演習では、コストマネジメントやマネジメント・コントロールについて、実務上の事例をもとに理解していくことを目的とする。毎回の講義ごとに指定図書の内容を割り振り、担当者がプレゼンテーションを実施する。その後、当該プレゼン内容について質疑応答を実施して、理解の深化を図る。</p>			
到達目標	<p>企業経営の実務において、コストマネジメントやマネジメント・コントロール手法がどのように活用されているのかについて理解する。本学修了後、実務上での役立ちが大きい知識習得を目指す。</p>			
授業方法	<p>本講義は演習形式である。対面講義再開後は、各回のテーマについて、(1) 受講者が報告し、(2) その報告または解説での疑問点、問題点などについて討議する。</p>			
事前・事後学習	<p>発表担当者でない受講者も事前にテキストの該当箇所を読んでくること。講義内での質疑応答が活発に行われるように事前の準備が必要である(100分)。また、講義後使用した資料を再度読み込むことで知識の定着を図ること(90分)。</p>			
成績評価の方法	<p>授業への参加やディスカッションへの積極的な参加の程度で50%、レポート(毎回のプレゼンテーション)への準備状況で50%の評価とする。</p>			
フィードバックの方法	<p>毎回の講義での受講者の発表ごとに、教員からのフィードバックやコメントをする。理解が不足していると思われるところについては、適宜補足を加えていく。</p>			
履修上の注意	<p>「原価計算原理」および「管理会計 I」を履修してから参加することが望ましい。</p>			
授 業 計 画				
第1回	<p>本講義のガイダンス コストマネジメントやマネジメント・コントロールについての概説を行なう。また、プレゼンテーションの方法について説明を行なう。</p>			
第2回	<p>原価企画について 指定図書の原価企画について、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。</p>			
第3回	<p>環境コストマネジメント・ライフサイクル・コストニングについて 指定図書の環境コストマネジメント、ライフサイクル・コストニングについて、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。</p>			

第 4 回	ベンチマーキング、価格決定について 指定図書のベンチマーキング、価格決定について、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 5 回	BSCについて 指定図書のBSCについて、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 6 回	ABC/ABMについて 指定図書のABC/ABMについて、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 7 回	品質コストマネジメント、SCMについて 指定図書の品質コストマネジメント、SCMについて、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 8 回	制約理論について 指定図書の制約理論について、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 9 回	資本予算について 指定図書の資本予算について、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 10 回	CVP分析、予算管理について 指定図書のCVP分析、予算管理について、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 11 回	MPC、業績評価について 指定図書のMPC、業績評価について、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 12 回	マネジメント・コントロールについて 指定図書のマネジメント・コントロールについて、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 13 回	戦略とマネジメント・コントロール、目標の設定について 指定図書の戦略とマネジメント・コントロール、目標の設定について、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 14 回	計画策定、業績評価について 指定図書の計画策定、業績評価について、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 15 回	インセンティブ・システム、組織構造、組織文化とマネジメント・コントロールについて 指定図書のインセンティブ・システム、組織構造、組織文化について、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
テ キ ス ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加登豊・李建『ケースブックコストマネジメント第2版』新世社</li> <li>・横田絵里・金子晋也『マネジメント・コントロール』有斐閣</li> </ul>
参 考 図 書	適宜紹介する。

科目名・単位数	管理会計演習 I A 2単位	科目分類	管理会計系	応用・実践科目
配当年次	2年次・春学期・昼	担当教員	ほそだ まさひろ	
履修形態	選択必修		細田 雅洋	
授業概要	<p>本演習では、コストマネジメントやマネジメント・コントロールについて、実務上の事例をもとに理解していくことを目的とする。毎回の講義ごとに指定図書の内容を割り振り、担当者がプレゼンテーションを実施する。その後、当該プレゼン内容について質疑応答を実施して、理解の深化を図る。</p>			
到達目標	<p>企業経営の実務において、コストマネジメントやマネジメント・コントロール手法がどのように活用されているのかについて理解する。本学修了後、実務上での役立ちが大きい知識習得を目指す。</p>			
授業方法	<p>本講義は演習形式である。対面講義再開後は、各回のテーマについて、(1) 受講者が報告し、(2) その報告または解説での疑問点、問題点などについて討議する。</p>			
事前・事後学習	<p>発表担当者でない受講者も事前にテキストの該当箇所を読んでくること。講義内での質疑応答が活発に行われるように事前の準備が必要である(100分)。また、講義後使用した資料を再度読み込むことで知識の定着を図ること(90分)。</p>			
成績評価の方法	<p>授業への参加やディスカッションへの積極的な参加の程度で50%、レポート(毎回のプレゼンテーション)への準備状況で50%の評価とする。</p>			
フィードバックの方法	<p>毎回の講義での受講者の発表ごとに、教員からのフィードバックやコメントをする。理解が不足していると思われるところについては、適宜補足を加えていく。</p>			
履修上の注意	<p>「原価計算原理」および「管理会計 I」を履修してから参加することが望ましい。</p>			
授 業 計 画				
第1回	<p>本講義のガイダンス コストマネジメントやマネジメント・コントロールについての概説を行なう。また、プレゼンテーションの方法について説明を行なう。</p>			
第2回	<p>原価企画について 指定図書の原価企画について、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。</p>			
第3回	<p>環境コストマネジメント・ライフサイクル・コストニングについて 指定図書の環境コストマネジメント、ライフサイクル・コストニングについて、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。</p>			

第 4 回	ベンチマーキング、価格決定について 指定図書のベンチマーキング、価格決定について、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 5 回	BSCについて 指定図書のBSCについて、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 6 回	ABC/ABMについて 指定図書のABC/ABMについて、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 7 回	品質コストマネジメント、SCMについて 指定図書の品質コストマネジメント、SCMについて、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 8 回	制約理論について 指定図書の制約理論について、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 9 回	資本予算について 指定図書の資本予算について、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 10 回	CVP分析、予算管理について 指定図書のCVP分析、予算管理について、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 11 回	MPC、業績評価について 指定図書のMPC、業績評価について、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 12 回	マネジメント・コントロールについて 指定図書のマネジメント・コントロールについて、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 13 回	戦略とマネジメント・コントロール、目標の設定について 指定図書の戦略とマネジメント・コントロール、目標の設定について、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 14 回	計画策定、業績評価について 指定図書の計画策定、業績評価について、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
第 15 回	インセンティブ・システム、組織構造、組織文化とマネジメント・コントロールについて 指定図書のインセンティブ・システム、組織構造、組織文化について、担当者がプレゼンテーションを行ない、受講生および教員からの質疑応答や議論を行なう。
テ キ ス ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加登豊・李建『ケースブックコストマネジメント第2版』新世社</li> <li>・横田絵里・金子晋也『マネジメント・コントロール』有斐閣</li> </ul>
参 考 図 書	適宜紹介する。